

f 若松保育園における自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください

【記入方法】

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへん良い
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				各、園児の個々の状況を見守りながら成長を促してゆく。保護者の意見に常に耳を傾け意識するよう努めた。職員間の報連相を充分に行う。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保護者との連携を密に計画案を作成している。視診の読みこなしを勉強会に定期的につなげることを大切にしたい。各年齢に応じた環境づくりを心掛けている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			園庭遊びが保護者の要望も多く整備、安全管理に気を配り続けたい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			計画を話し合い、園児、職員の無理のない計画を進めてきた。行事後の保護者の意見を全職員で振り返り、次へ生かすようにする。
	(2) 行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

園長 赤嶺 卓枝



※保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○	各職員への役割分担を行い、忙しい中楽しく工夫し園運営を考える。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		役割の難しさを感じた時の相談、悩みを話し合っている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		保育目標をあまり高く持たず、無理なく個々を受け止め成長を伸ばしていく事に重点を置いてゆきたい。異年齢児保育は常に重点視してゆきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。			○	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○			
	保険・安全	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保険対策を講じているか。	○			安全に関しては職員同士、勉強会を通じて意識するSIDS、虐待等への危険等を伝える。ヒヤリハットの重要性を意識する。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、家庭への啓発を行っているか。	○			
(4) 乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
研究・研修	園内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。		○		園内研修の時間帯を保護者の理解もあり、大分充実してきたと感じる。十分とは言えないが与えられた時間を充実した時間にしていく。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	園外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			研修を出来る限り見逃さず、参加し、職員の研鑽を積み重ね報告会を生かしたい。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○		

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				特に個人情報の流出への注意は職員へ周知するよう指導する。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				施設内外遊具の老朽化もあるので、安全点検をしっかりと行う。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者に対応する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				特になし	
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目的や課題に沿ったものになっているか。	○				隣接した肢体不自由児施設、老人施設、小規模連携園との交流を両職員間で計画等を考え、交流を行い、園児に、命の大切さを教えながら、いろんな経験を味わわせている。特に年中～年長児は喜んで参加している。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳) 幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め援助についての共同理解を図っているか。	○				
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				地域の行事の参加が安全面を考えると難しい場合も多い。 (時間帯等)
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育園づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			保護者を対象とした学習会は次時間的なものや、場所の設定を考え、前向きに検討会していきたい。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは、親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		(3) 「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○	
		(4) 職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				特になし	
	情報の発信	(1) 保育園だより、クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより、保健便り、給食会議、その都度更新のホームページで情報を発信し、保護者へ伝えていく。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	検討中
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			保護者の意見を参考にして